

地域の経済動向調査(平成27年度)

1. 地理的側面

香春町は福岡県の東北部に位置し、北は北九州市小倉南区、西に田川市と隣接しています。幹線道路として、福岡市から行橋市に福岡県を東西に横切る国道201号線、香春町から北九州市小倉南区へ南北につながる国道322号があるため、東西南北と交通の要所となっています。そのため町内に流入する人や物もあるものの、田川市、北九州市へ流出する人や物も多いことが考えられます。

2. 福岡県下での香春町の経済水準および田川市、北九州市小倉南区との対比

指標値

市町名	人口	事業所数	昼間人口	課税対象所得(千円/人)	卸売年間販売額(千円/人)	小売年間販売額(千円/人)	製造品出荷額(千円/人)	消費購買力(百万円)
香春町	11,789	359	10,724	908	150	342	673	15,336
田川市	49,830	2,430	55,716	902	282	1,069	1,184	65,205
小倉南区	215,867	6,767	192,448	1,234	821	698	865	277,510

経済水準(偏差値)

市町名	市場規模	成長度	中心地性	富裕度	産業中心地性	消費購買力	都市開発水準	総合評価
香春町	42.68	41.28	44.97	41.92	45.04	42.42	41.24	42.79
田川市	47.93	48.98	58.53	41.65	50.79	47.65	50.64	49.45
小倉南区	64.55	49.42	48.23	56.44	48.35	69.91	69.57	58.07

人口規模で田川市が約 4.2 倍、北九州市小倉南区が約 18.3 倍であるのに対し、事業所数で見ると田川市が約 6.7 倍、18.8 倍と引き離されていることから、労働力の流出が発生していると予測されます。また、小売年間販売額(千円/人)において田川市が約 3.1 倍となっており、消費購買についても田川市など近隣へ流出している可能性は高い。自家用車での移動や通勤・通学の帰りに買い物をするなどが要因だと思われます。

ただし課税対象所得(千円/人)においては田川市より若干高くなっている。消費の源泉である所得について多少の光明が見出せるのではないのでしょうか。

福岡県下の経済水準との偏差値において、すべてに項目で低評価となっており、厳しい結果となっています。

3. 香春町の経済動向特定

地域特性からみた特徴

まずは町のシンボルである香春岳からのセメント採掘を行う企業及びこれに関連する産業が、福岡県下において鉱業・採石業等民営事業所比率が偏差値 75.36 であることは特筆すべきです。

また、65歳上の人口比率も高く、35.13%であり偏差値が 64.58 であり高齢化が顕著になっています。それに伴い、保健・医療関連購買力比率の水準が 4.77 であり偏差値も 62.14 と高い水準です。

居住の面で、持ち家世帯比率は 72.19 であり、偏差値が 55.93 と県内の平均を上回っています。これに伴い家庭用耐久財や冷暖房、室内装備など家の中で使用する家具・家事用品を購入する機会があると考えられることから、家具・家事用品購買力比が偏差値 57.53 と平均値を上回っています。

町内に大型小売店舗は無いものの、コンビニエンスストア数が 6.81 店/万人あり、偏差値も 68.51 と高水準にあります。大きな幹線道路が町の中心を十字に通っていること、福岡、北九州、京築、大分を結ぶ交通の要所であることが影響しており、経済的にも町内の内需の不足を外需で補完していることが予測できます。

4. 将来の予測

経済動向の要となる人口動態についての2020年に予測です。

項目		指標の値	偏差値	県内平均値	郡部平均値
将来人口	人	10,172	42.00	69,001	20,076
15歳未満人口比率	%	10.89	42.86	12.40	12.96
生産年齢人口比率(*)	%	48.66	34.07	55.71	54.31
高齢人口比率	%	40.44	64.71	31.89	32.73
将来人口伸び率	%	-12.95	37.34	-4.62	-5.42

今後も人口の現象、高齢化は進んでいくことが予想されています。

*: 生産年齢人口=15歳~64歳の人口

参考レポート

市場情報評価ナビ MieNa

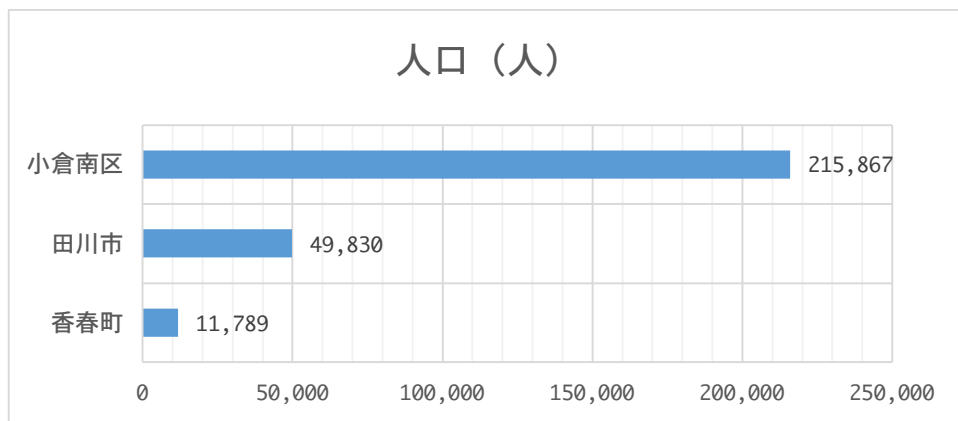
・都道府県内 全市区町村比較 評価レポート

・特定市区町村 評価レポート

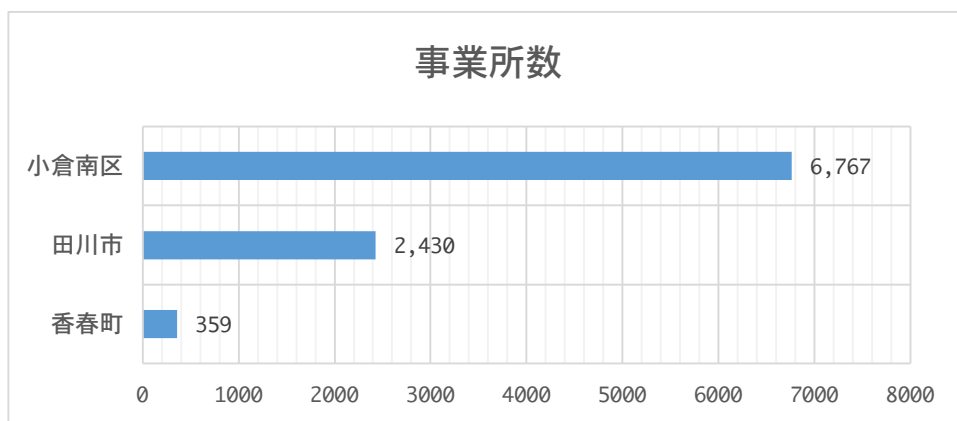
4. データの比較図

1. 経済水準指数

1) 人口

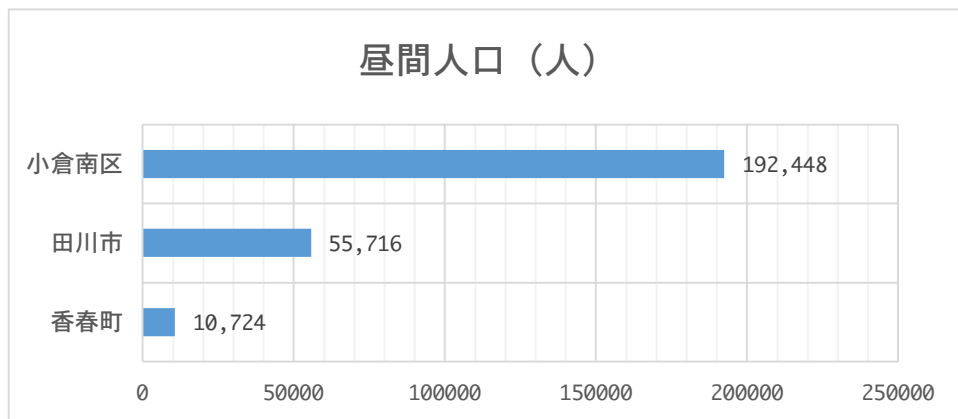


2) 事業所数



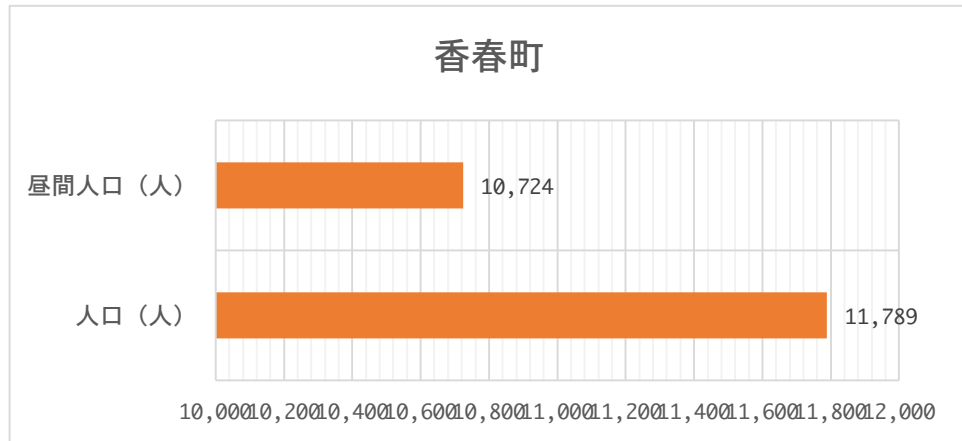
1事業所あたりの人口では約32.8人と小倉南区の31.9人と同等レベルである。

3) 昼間人口

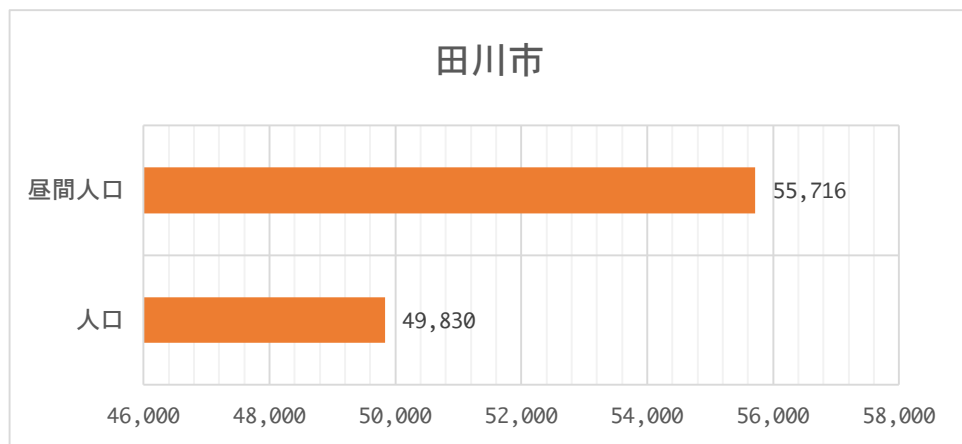


3-1) 昼間人口対基礎人口(区市町別)

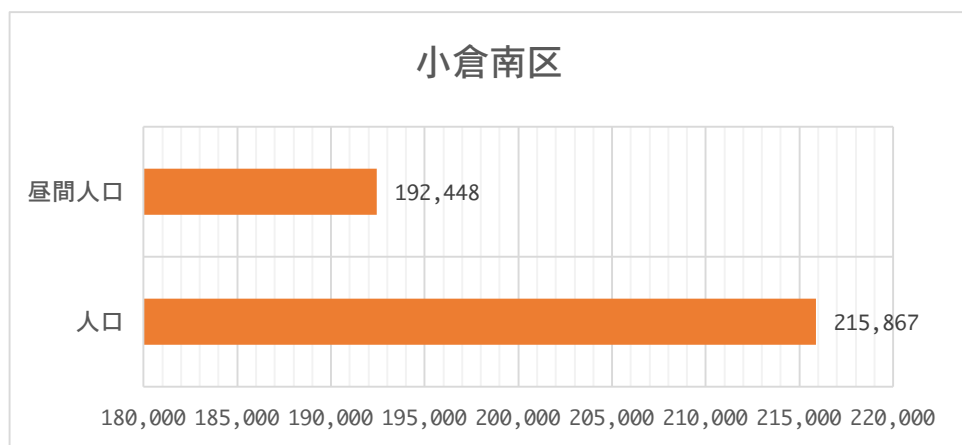
3-1-1) 香春町



3-1-2) 田川市

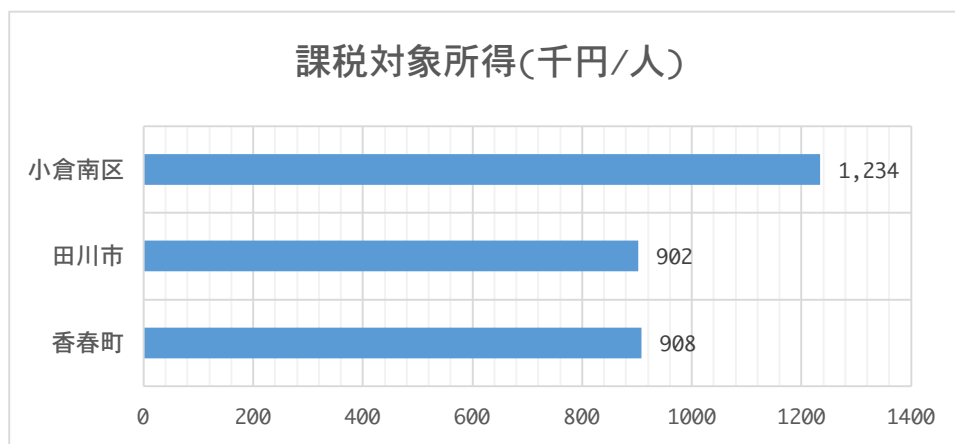


3-1-3) 小倉南区



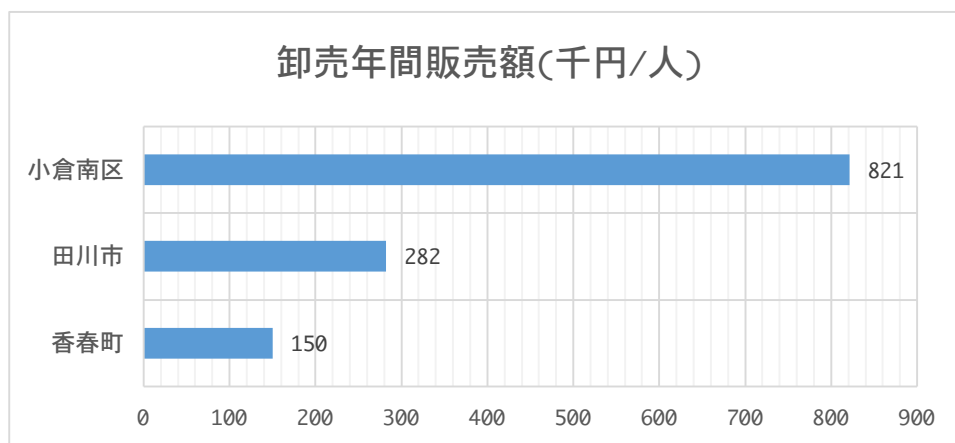
香春町、小倉南区は約10%ほど昼間の人口が少なくなるが、田川市は約10%増加している。

4) 課税対象所得

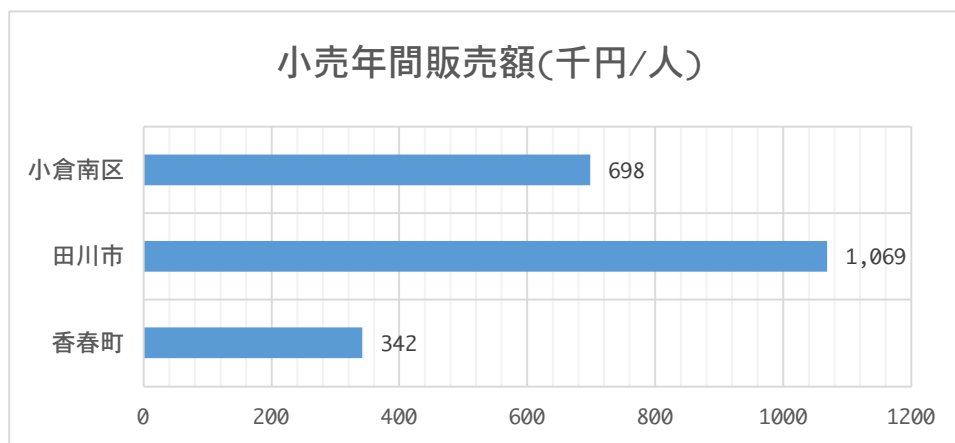


一人あたりの課税対象所得は田川市より僅かに多い

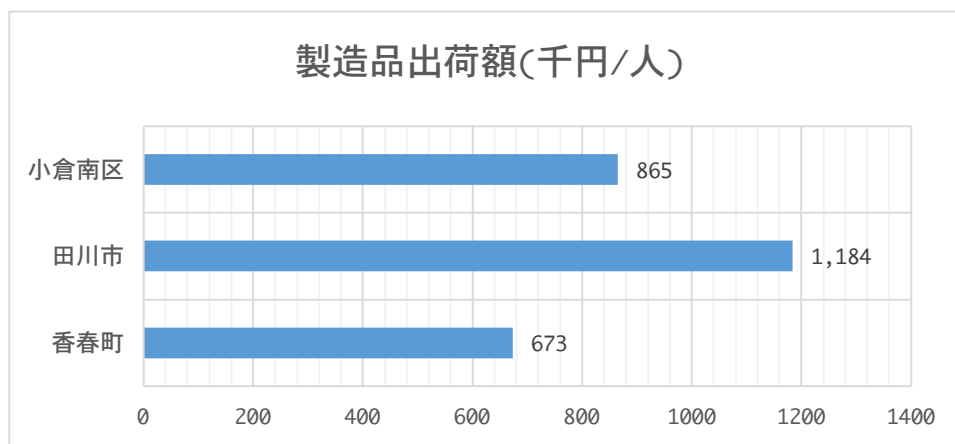
5) 卸売年間販売額



6) 小売年間販売額

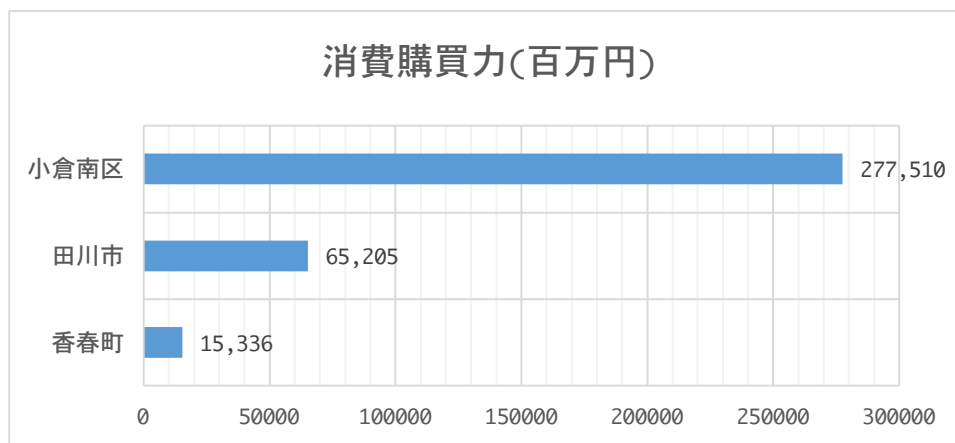


7) 製造品出荷額



一人あたりの製造品出荷額は所在事業所数の割合と照らし合わせてみると、小倉南区との差は比較的縮小されている

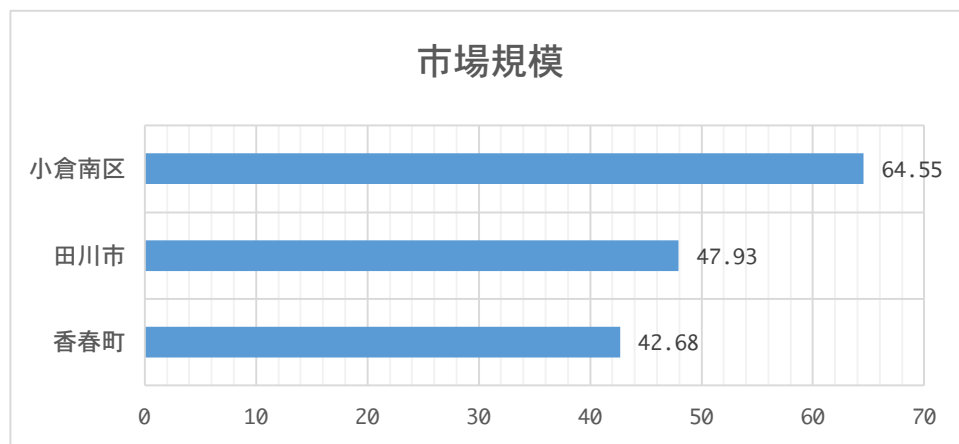
8) 消費購買力



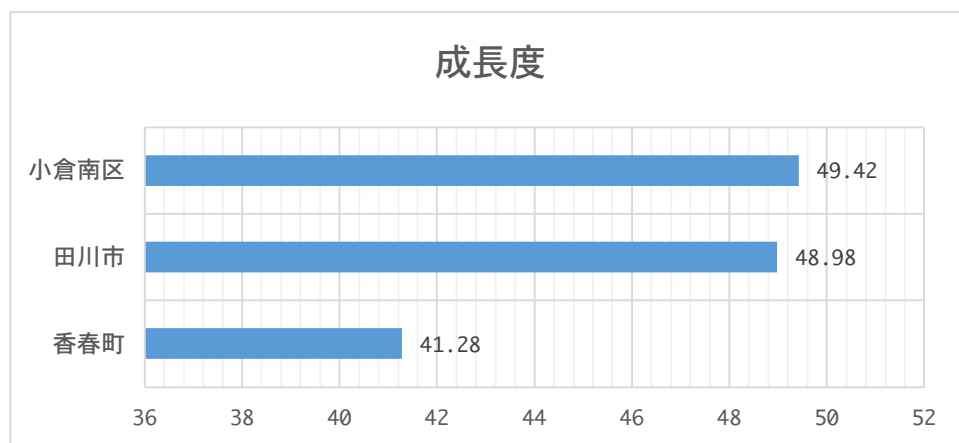
1年間の消費購買力(支出)において、香春町は近接2地区に大きく差がついている

2. 経済水準指数(偏差値)

1) 市場規模

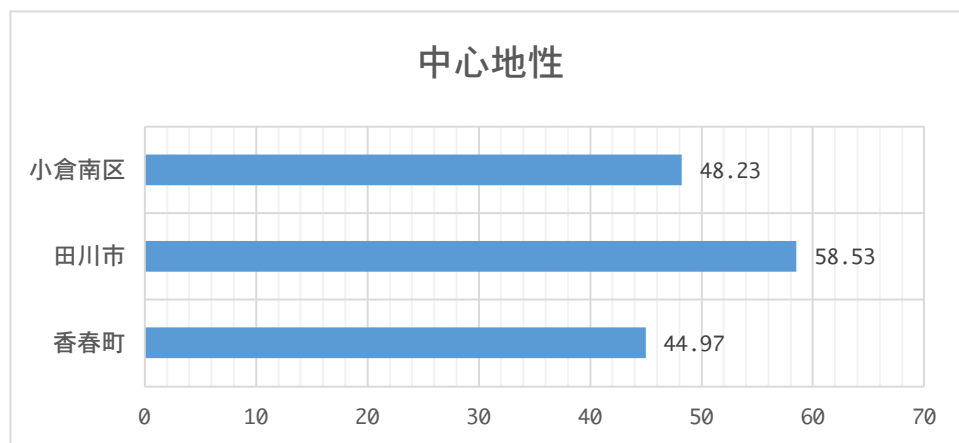


2) 成長度

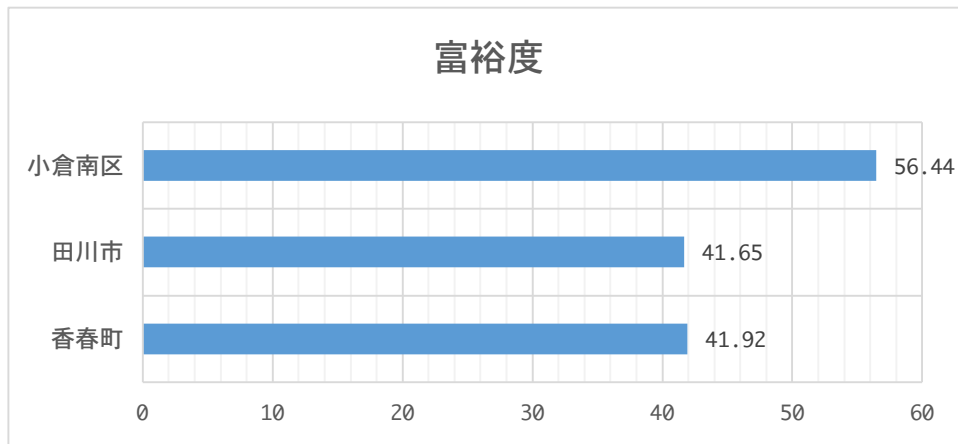


香春町は極端に低い結果となっている

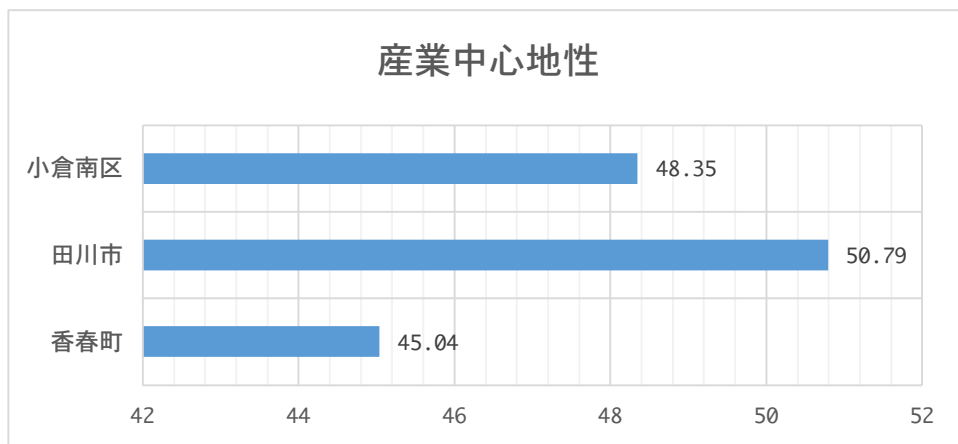
3) 中心地性



4) 富裕度

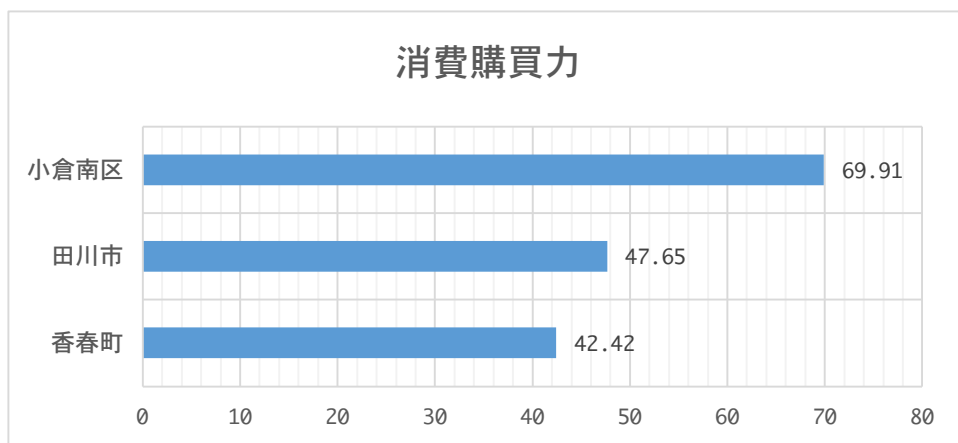


5) 産業中心地性

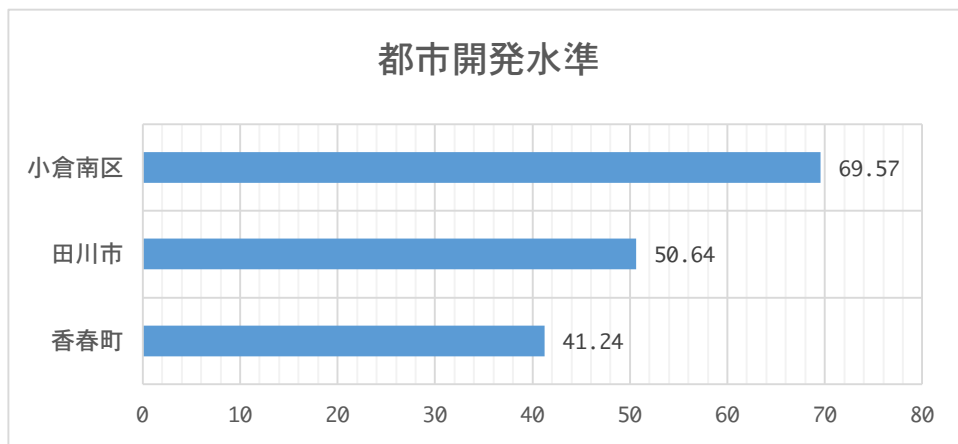


田川市への消費・昼間人口の流出の結果が予想されます

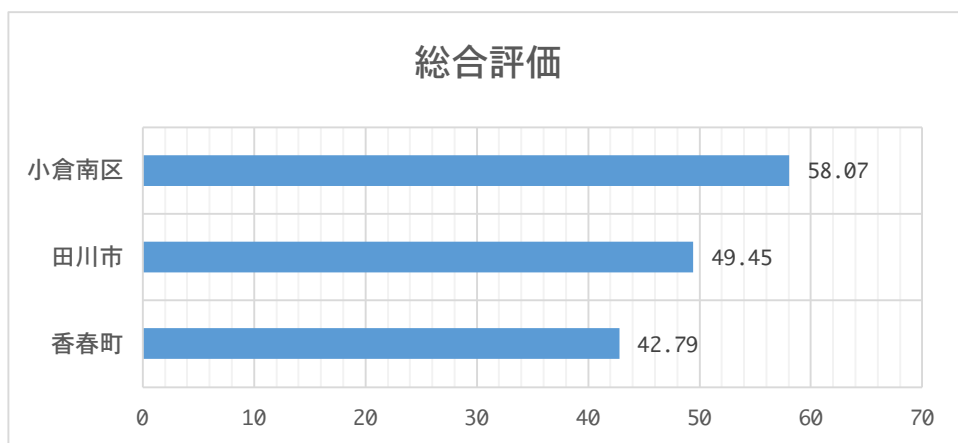
6) 消費購買力



7) 都市開発水準



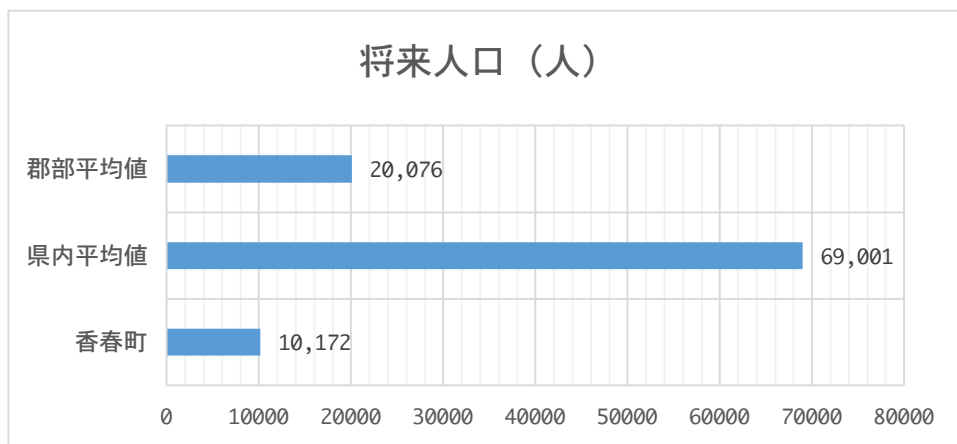
8) 総合評価)



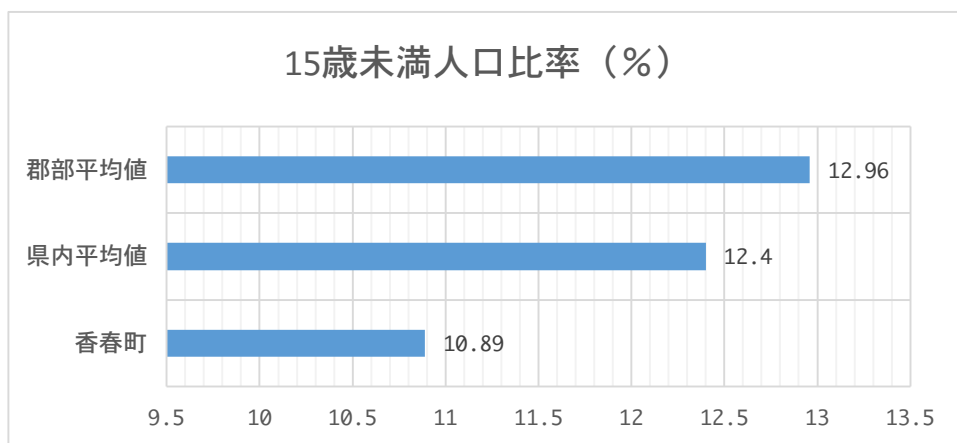
総合評価として中央値の 50 を大きく割り込んでおり芳しい状態ではない。近接する田川市が中央値以下であることから筑豊地域東部としても厳しい経済状況である

3. 人口動態の予測

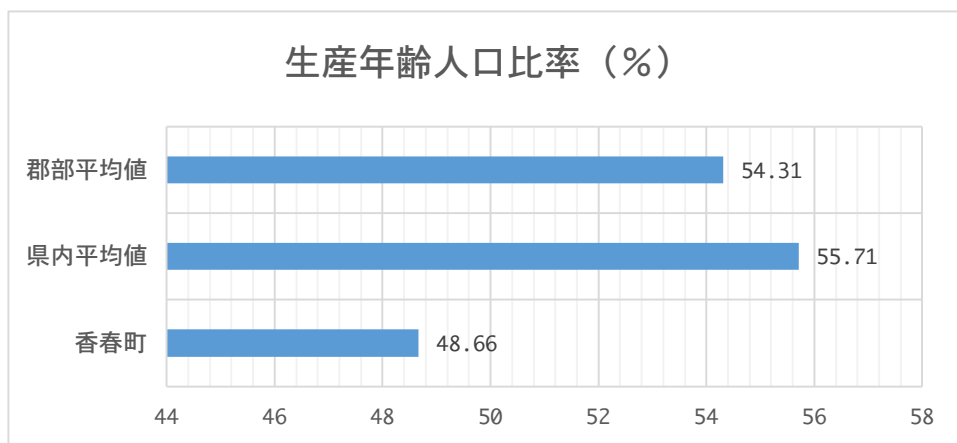
1) 将来人口



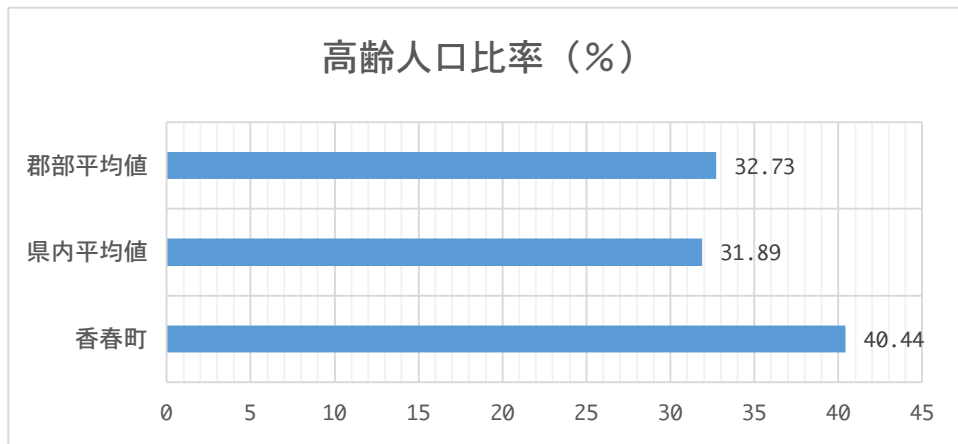
2) 15歳未満人口比率



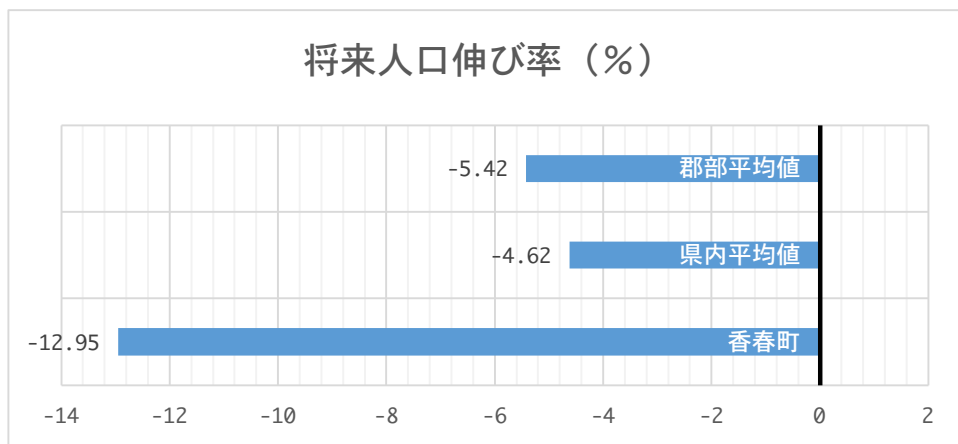
3) 生産年齢人口比率



4) 高齢人口比率



5) 将来人口伸び率



各地で人口減少が始まっているが、香春町では県内平均の約3倍のスピードで人口減少が発生する